

指揮隊運用図上訓練を実施

埼玉県南西部消防局

埼玉県南西部消防局では、令和6年2月26日（月）から28日（水）までの3日間、「指揮隊運用図上訓練」を実施しました。

この訓練は指揮隊の任務及び各隊員の役割分担を再確認し、指揮隊として必要な知識及び技能の向上を図ることを目的に実施したものです。

訓練では、管轄内の専用住宅で火災が発生したとの想定で行い、現場の状況がイメージできる画像や状況付与を基に、出場から鎮火に至るまでの指揮隊活動を確認しました。

今後も災害対応能力の向上に努めてまいります。



令和5年度予防技術資格者認定証交付式を挙行

小山市消防本部

小山市消防本部では、2月5日（月）、新たに予防技術資格者として認定する職員に対して認定証の交付式を実施し、金色（3区分）又は銀色（2区分）の資格者章を貸与しました。

なお、今回新たに認定した職員を含め、職員総数の74%にあたる165名が認定（内訳：3区分33名、2区分27名）となりました。

これを受け諏訪消防長からは「引き続き知識習得に励み、予防業務に邁進してほしい。」と訓示がありました。



消防通信

望

楼

ぼうろう

意見発表会の内容を実現させた火災予防広報を展開

松本広域消防局

松本広域消防局では、令和6年4月15日（月）に管内の金融機関で高齢者を対象とした火災予防広報を実施しました。この取組は、当消防局の若手職員が昨年度開催された長野県消防職員意見発表会で提案した内容を実現したもので、年金支給日に併せて「火災から命を守るチェックカード」を手渡しました。

当消防局では、若手職員のアイディアや意見を施策に反映することで人材育成につなげるとともに、火災予防広報を更にシンカ（進化・新化・深化）させる取組を続けていきます。



▼火災から命を守る
チェックカード



オリジナル壁掛けカレンダーを作製しました！

尼崎市消防局

尼崎市西消防署では、尼崎市防火協会西支部の協力のもと、消防を身近に感じてもらうことを目的としたオリジナル壁掛けカレンダーを作製しました。

子供達に将来、消防士になりたい！と思ってもらえるよう訓練風景など消防隊員の躍動する姿を撮影しており、消防という仕事の魅力が込められたカレンダーとなっています。また、西支部事業所等による自衛消防隊消防操法大会の様子を掲載し、西消防署と西支部が一体となった火災予防も啓発しています。

西支部事業所並びに西消防署管内の小中学校、幼稚園、保育所及び地域の生涯学習施設へ配布し、カレンダーを通して子供達に消防の魅力を発信しています。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】